

富山市政特集

すべての人が輝き安心して暮らせるまち

人材・暮らし

健康・福祉拠点 まちなかに



産後ケア応援室□ヒー



産後ケア応援室

母親や育児サポート

「まちなか総合ケアセンター」
は、「産後ケア応援室」や「病児保育室」などを設け、助産師や看護師らの専門職が母親の心身をケアしたり、育児をサポートしたりする。
産後ケア応援室は、産後4カ月までの母子が宿泊できるほか、日中のみの利用もできる。育児に不安があるたり、家族から育児を協力してもらえないなどたりする母親に助産師がケアプランを用意し、

●産後ケア応援室・病児保育室

一人一人の目的や体調に合ったサービスを提供する。自治体が直営するのは全国初。

訪問診療で暮らし安心



診療所の医師や看護師へ

●まちなか診療所

●まちなか診療所
「まちなか診療所」は、シニア層を中心に幅広い世代に訪問診療を行い、市民が安心して自宅で暮らせるようにする。医師は3人おり、利用者の看取りや体調の急変に対応できるよう24時間体制を取る。
在宅医療のみを行う診療所は、一般的には一般的な外来診療で、基本的には一般的な外来診療所で、介護連携室で行う。



●官民の複合施設

「絶曲輪レガート
スクエア」オープ

市まちなか総合ケアセンター」では、乳幼児から高齢者までに途切れることなく必要なケアを行い、行政サービスを一元的に提供する。訪問診療などをを行う「まちなか診療所」や病児保育室、全国初となる自治体直営の産後ケア応援室などを整備した。心身の発達の遅れが心配される子どもの早期支援を図るために、切れ目ない支援を行う「こども発達支援室」もある。子育

ス（大阪府）の立体駐車場が整備された。駐車場1階には調剤薬局とコンビニもある。

三つの専門学校には、3年後の2020年春には計880人が通うことになる。市は専門学校の学生を対象に、「まちなかを巡るツアーや開いたり、ランチチケットを配布したりして、中

総曲輪レガートスクエアの竣工式典で
テープカットする関係者ら
富山市は4月1日、旧総曲輪
学校跡地に「総曲輪レガート」
スクエアをオープンさせた。
健康のまちづくりや福祉の充
実、にぎわい創出を目指し、P
P（富民連携）による複合的
に整備された。
レガートはイタリア語の「結
ぶ」で、音楽では「滑らかに演
奏する」という意味を持つ。全
体の敷地は約1万平方㍍。
市の地域包括ケア拠点施設
（富山市）のカフェ、大和リーゼ
池学園（福井県）が運営する
富山リハビリテーション医療福
祉大学校と富山調理製菓専門学
校、グンゼスポーツ（兵庫県）
のフィットネスクラブ、廣貫堂